



トウホクノウサギ

(2004年1月26日午前3時ごろ 「採草地」)

ひ しず くら いずみがたけ のはら げんき は まわ
日が沈んで暗くなると、泉ヶ岳の野原を元気に跳ね回
って、食べ物である植物の葉や芽を探し始めます。ひ
ばん すうきろめーとる うご まわ
と晩で数 km も動き回ります。

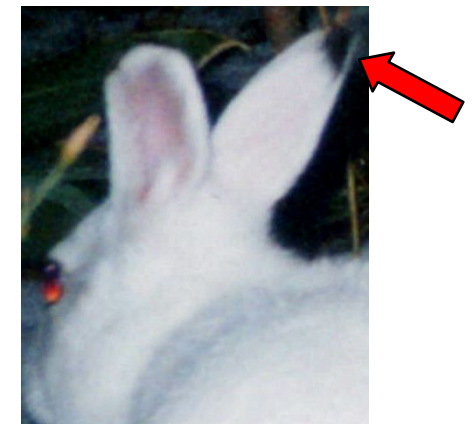
おお
大きさはネコと同じくらい。

じぶん た お
自分を食べるキツネやテンが追いついてこれないよ
うに、突然大きくジャンプして足跡が途中で消えたよう
み
に見せることがあります。これを「とめ足」といいます。

ゆき のこ あしあと ゆうがた ゆき や ひ よくあさ
雪に残る足跡は、夕方までに雪が止んだ日の翌朝に、
み
たくさん見ることができます。



冬以外の季節では、茶色の毛並みで
す。季節に応じて毛色が変わり、敵から
見つけにくくなります。



耳の先だけが黒く残
るのが特徴です。